



かわごえ



# 民児協だより

[第89号]

令和5年6月発行  
(2023年)

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



カイツブリの子育て

撮影者：三上 豊



会長 藤崎 昇

## 地域に根ざした活動を！

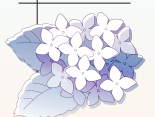
私は今から十二年前に民生委員・児童委員に就任しました。十二年前は日本を揺るがすほどの事件「東日本大震災」が発生しました。この地震で電気の大切さを痛感しました。それは津波による福島原発被災、その影響による電力不足によって東日本各地での「計画停電」が行われたことでした。

ロナウイルス感染拡大下、この「たより」を各委員担当地区でポスティング発信を続けてきました。「信頼関係」は人との対話（文字、点字、手話も含む）による意思疎通の実践で築いてまいりました。

この「計画停電」では、地域の高齢独居の皆さんはじめ多くの皆さんが、不便で心細い生活を強いられているのではないかと思い、「個人たより」を発行。第一号はこの「計画停電」の情報発信でした。この情報発信によって、地域の皆さんとの距離が近づき「信頼関係」を築くことが出来ました。

私たちは地域の「世話役」としてのボランティア、専門職ではありません。地域の皆さんの悩み事、心配事に耳を傾け、「信頼関係」を築きあげることが大切です。そして、必要に応じて専門機関につなげて行く、それが地域に根ざした「世話役」活動、私たちの任務とします。皆さんの担当されている地域で「やりがいのある」民生委員・児童委員として、活動を進めていただきたいと思います。これからの三年間皆さんと一緒に頑張ります。よろしくお願いたします。

今では「個人たより」を「山田地区民生委員児童委員協議会たより」として毎月1回発行しています。コ



民 児 連 役 員 紹 介

副会長

第九地区 田中 敏枝



初心にかえって

川越に生まれ数多くの方々と接しながら、年月を重ねて参りました。人間は会話を通して、成長すると感じております。担当地区の方々と何気ない会話のなかからお互いを知り民生委員・児童委員として認められ、奥深い心にある悩みなど本音の話や相談をして頂いたと自負しております。私達は専門職ではありません。どこにつなげたら良いか、日々の研鑽によって培って来た技能で専門家に渡したり、自分が持っている情愛によって一人でも多くの方々に支えて差し上げることが大切な役割だと思っております。支援をした方からのお礼の言葉等を励みにこれからも努めて参り

たいと存じます。宜しくお願ひします。

副会長

第五地区 市村 博子



副会長の任にあたり、御挨拶を申し上げます。

マスクも取れ地域活動も動き出していますが、高齢者の行動制限された3年間、身体的にも生活環境面でも大きく変化しています。また、高齢化も進み見守り活動の重さが増しています。活動していく中で、広く地域の方々に民生委員・児童委員を知っていただく事の大切さがあります。地域の行事やイベントを通して、顔を知っていただき、気軽に声をかけ、話しやすい関係を築く様に心がけて活動しています。地域の皆さんと一緒に見守れる輪を作り、地域力を高め、長く住みや

すい地域作りの一つとなりたいと思っております。民児連も、其々の地域の特性を生かした活動と支援の輪が広がる事を願います。

副会長

名細地区 宮根 信夫



この度、副会長に選任されました、名細地区の宮根でございます。

本市を取り巻く福祉環境は高齢化が進み、「一人暮らし高齢者」が増加しており、コロナ禍では高齢者の孤立、見守りや相談相手等の役割などが求められております。加えて、社会生活の多様化に伴う、振り込め詐欺、高齢者・児童虐待防止、引きこもり対応などの福祉課題が山積している状況であります。このような状況の中で、民生委員・児童委員活動で担うことが多岐にわたり、かかる負担が増加しております。つきましては、遺漏のない福祉の推進と併せて担当

委員の役割が過度の負担にならない方策を進めて参りたいと考えております。

会計

霞ヶ関北地区 中島 眞利子



昨年度より引き続き会計を担当する事になりました。

役員会、理事会では、各地区協議会とを繋ぎ、コロナ禍においても各民生委員・児童委員が活動し易い環境作りに話し合いを重ねています。部会の在り方についても委員がより活動をし易い様に、部会費の共通認識を持つよう協議いたしました。3年前の4月6日緊急事態宣言の中、地区民協の定例会すら出来ない状態が続く中でも民生委員・児童委員の活動は平常時以上に必要とされました。しかし限度の有る活動ゆえ最近では、体力の減少による歩行困難や認知症の話をよくお聴きします。「聴く」「慮える」の字のごとく心を忘れずに

会計

第四地区 水村 富美子



この度、民児連会計の指名を受けました。水村でございます。

弱者、高齢者に寄り添い活動に励みたいと思います。

地域住民に寄り添う存在である民生委員・児童委員にとつて感染対策で「人と人との接触」が減った中で、「地域福祉のつなぎ役」として、民生委員・児童委員の活動が、今後、益々大切になっていくと感じております。第四地区民児協では、安否確認・ちらし配布・バーズデー訪問・高齢者サロンなど地域の方々とつなごうを大切にしながら地域に根差した活動に取り組んで参りました。地区民児協での活動経験を生かして、民児連の運営を支えられるよう、努力いたします。

# 地区民児協だより

## 第一地区

山本 万里子

第一地区は、市役所の北側に位置しており、蔵造りの町並みから氷川神社へ続く沿道には、様々なメディアにも取り上げられることもあり、昼間は多くの観光客が行き交い、にぎわいを見せています。隣接する本丸御殿や博物館、美術館へ向かう学生の姿もよく見受けられます。川越の歴史や伝統を身近に感じられる地域でもあります。

昨年、開校一五〇周年を迎えた川越小学校では、



「のびのびスクール」という放課後子ども教室が開かれています。宿題などの学習や手作りのゲーム等のサポートをするボランティアとして参加しました。

地区内にある小中学校を訪問し、情報交換をしたりと連携しながら見守りをするようなこともあります。

また、北公民館において毎月開催されている子育てサロン「かんがるく」は、小さな子ども達と遊んだり、保護者の方と話したり、時には子育ての先輩でもあるボランティアの方と一緒に子育ての悩みを聞くなど交流

の場になっていきます。川越で最初に始まり、二十年以上続く方もあるそうです。孤立しがちな子育ての時間の中で、ひとときでも息抜き出来る場が必要とされているのではないのでしょうか。

コロナ感染症の流行により、主任児童委員としての活動もままならないなかで、現地区会長には、主任児童委員としても長年ご尽力されてきた経験から、助言や協力をいただきながら、民生委員の方々と共に活動できることを幸いに思います。

## 第二地区

岡部 千代子

第二地区は、蔵造りの町並みのある「札の辻」の西に位置し、仲町、幸町、元町二丁目、末広町一・二・三丁目、石原町一・二丁目の八自治会で構成され民生委員・主任児童委員併せて十三名（欠員二名）で活動しています。

コロナ禍で我が第二地区も充分な活動が出来ない中、

どのように地区の方々、特に高齢の方々に接していったら良いのか手探りの状態で歩んできました。

その中で、ここ二年続けて実施したのが、見守り事業と民生委員・児童委員の自己啓発研修です。

見守り事業とは、友愛訪問の対象の方々に「おかわりありませんか」と、季節の言葉を添えて葉書をポストイングする活動です。当然ですが、気になる方がいらつしゃれば、ご迷惑にならない程度にお声掛けしながら、配りました。年三回実施することが出来ました。自己啓発研修とは民生委員・児童委員がお互いに推薦する図書を紹介しあい、自己研修しようとしたことです。福祉関係の本だけでなく、



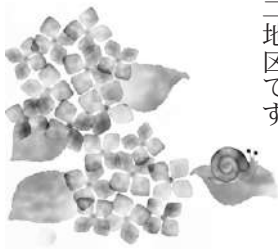
見守り事業のはがき



推薦図書冊子

なく、家族、スマホの影響等の社会問題を扱った本、さらに歴史、文学、自然科学まで、様々なジャンルの本に触れ、読んで視野を広め、自己研修を深めることができました。第二地区民生委員・児童委員全員の交流もより深まったと思います。

今期から、男性の民生委員・児童委員も含め新しい若い仲間が加わりました。皆で悩みながらも歩んでいる第二地区です。



# 地区民児協新会長挨拶

## 第三地区

表 淑子会長



改選により第三地区の会長に就任しました。前会長が推薦してくださったのは、フットワークがいい所だと勝手に思っています。いつも自ら運び屋と言っています。私もたぶん今頃は、ギターを片手に、市内の施設に懐かしい歌を届けにいらしている事と思います。

定例会では、色々な意見を出して頂き、情報を共有し合える場にしていきたいと思っています。

コロナ禍では、町内の介護サポーター、自治会役員自宅の庭の広場を共有して下さる方々の協力により、いつも子供操の替わりにラジオ体操を週二回行う事が出来ました。町内の絆が深まりました。ありがとうございます。

## 芳野地区

田中 善之会長



今回の改選により、地区民児協最小の芳野地区の会長に就任しました。

人は、人生の中でいったいどれほどの人達と出会うのでしょうか。子ども時代、学生時代、社会人時代、そして旅の中で、一つの出会いが人生を二変させることもあります。そんな出会いを大切にしながら、今後も民生委員活動をしたいと思っています。

仏蘭西には、*Relais* (ルリユール) という職業があります。何度も何度も捲られ、表紙は破れてぼろぼろになってしまった大切な本を蘇らせる製本職人のことです。

そしてこの *Relais* という仏語には、「人と本をつなげる。人と人をつなげる」という意味を持っています。

## 南古谷地区

佐藤 明会長



抱える不安が少しでも和らぎ、問題解決の糸口が見つかるよう、地域住民の身近な相談役として、関係機関とのつなぎ役として、力を合わせて活動して参りますので宜しくお願い致します。

昨年の12月の一斉改選に伴い南古谷地区の会長に就任致しました、佐藤明と申します。

民生委員としては2期目であり、会長という大任を仰せつかり責任の重さを痛感しておりますが、多くの先輩方が築いて来られた内容を継承し、誠心誠意努めて参る所存でございます。

さて、南古谷地区は定員が29名（主任児童委員含む）であります。欠員が有り現在26名で内17名が新任の民生委員・主任児童委員であります。微力ではありますが

## 高階地区

高栖 敦子会長



高階地区は、新任委員二十八名を迎え、民生・児童委員六十八名、主任児童委員三名で活動しています。

私が民生・児童委員を引き受けた頃と比べますと仕事が増えています。そういう状況下で改めて、委員活動等の見直しの必要性を感じました。委員の皆様がゆとりをもち、地域の皆様に寄り添った活動が出来るよう関係機関等と連携・協力・工夫していきたいと思っております。

## 福原地区

吉成 千代子会長



福原地区は、民生・児童委員二十六名、主任児童委員二名の定員ですが、現在三名の欠員で活動しています。私が委員になって四期間は、男性が会長だったので私で務まるのか不安でしたが、皆様に協力して頂き、励んでいきたいと思っております。前期はコロナの影響で、研修旅行や高齢者の集いの中止など行事の経験が出来ずに三年間終わってしまった方々が居ても残念でした。今期は色々な経験をして、知識を深め、地域の方々が健康で住み良い環境の町づくりを目指し、委員一同一体となり活動していきたいと思っております。そして皆が委員をやった良かった、あの人が民生委員で良かったと思われようになつてほしいと思っております。

大東地区

田上 好弘 会長



昨年の改選により大東地区は、定員の半数22人の新人を迎えました。今年は全員が初心に帰る気持ちで、「先人に学べ」と「餅は餅屋に聞け」を実践中。

2月と3月の定例会は、OBの方が講師。訪問の注重点、コロナ禍での対応の勉強会実施。今後も招聘予定。

4月の定例会では、川越市高齢者いきがい課に講師を熱望。緊急通報システム、緊急キット、緊急情報シートの3点の特徴や違いを細かく教授頂きました。

6月は、川越市防災危機管理室より、地震や水害から、高齢者の皆様がいかに身を守るかの講演を予定。皆様に、安心と笑顔を届けられる民生委員・児童委員を目指して日々邁進中です。

霞ヶ関地区

神山 裕一 会長



霞ヶ関地区民児協は定数41名(欠員2名)で活動しています。

2020年より始まったコロナパンデミック。約一年半に亘って社会活動が停止または制限され、特に高齢化が進む中で、人と会えないことのもどかしさを痛感する毎日でした。しかしながら徐々にではあります、人との交流も再開されてきました。今後の活動が多岐にわたれば、委員一人一人が抱える諸問題も大きくなることでしょう。それらの問題は決して一人で抱えこむことなく、各月開催される定例会を通して事例報告としてお話しいただき、委員の皆様のお力をお借りしながら楽しく、充実した活動をしていただけるよう力を尽くしていきたいと思えます。

コロナ禍で失った二年半。なかなか元に戻すことは難しいと思えますが、一日一日を丁寧に積み重ねていこうと思っています。

新 部会長 挨拶

自身の子どもがまだ中学生なので、身に近い部会だと思いいこの部会を選びました。部会長というものに初めてなつたので、不安は多くありますが、部会員皆が楽しく学べる会を目指しているのので、協力し合い活動していきたいと思えます。

生活福祉部会

菅沼 乙美 部会長



生活福祉部会は、22名の部会員で構成されております。昨年度までコロナによる制限がありました。令和5年度総会に全員参加することで有意義な話し合いができ活動目標を共有いたしました。福祉の基礎知識の研修・視察・高齢者の健康福祉等、3点について、活動していきたいと思えます。

児童福祉部会

榎原 水妃 部会長



今期、児童福祉部会会長を務めさせていただきます。

自身の子どもがまだ中学生なので、身に近い部会だと思いいこの部会を選びました。部会長というものに初めてなつたので、不安は多くありますが、部会員皆が楽しく学べる会を目指しているのので、協力し合い活動していきたいと思えます。

主任児童委員部会

井守 理枝子 部会長



子どもや保護者に寄り添い、子育て応援団として活動できるように、学習会やイベント等を行なっておりますが、まだまだ認知度が低く、相談されることが少ないのが現状です。引き続きPRにも力を入れ、繋がる道を見つけながら、楽しく充実した部会になるよう努めてまいります。

高齢福祉部会

新井 忠晴 部会長



高齢福祉部会は、民生委員活動における高齢者福祉の重要性を認識し、重点目標に高齢者の支援のあり方を学び、また友愛訪問等の際に有用な情報提供することで地域と連携を深められる学習をしていくことにします。又各部員との情報交換会の成果は、地区民児協にフィードバックし今後の高齢者福祉に寄与して参りたいと思えます。

広報部会

堀 直美 部会長



今期の広報部会長に就任しました。民生委員・児童委員一年目でもあり、勉強しながら努めていきたいと思っています。

広報部会は、年2回発行する「民児協だより」の編集作業が主な活動です。部会員一同、より良い広報紙づくりを心がけて活動していきたいと思えます。

# 民生委員・児童委員になつて

「自由な声をお聞きしました」……

民生委員・児童委員として沢山の方々が笑顔の暮らしを取り戻せる社会に！とコロナ禍の中、出逢い、又お手紙と活動できることに大きな喜びを感じます。心のつながりを大切に前進します。

民生委員・児童委員七年目、75才、男。20ヶ月前から人工透析となり、障害一級となる。最近見守り中、逆に体大事にして下さいと激励されます。今期で最後ですが、見守りが大切とっています。

民生委員・児童委員になつて早4ヶ月。訪問回数が増えるにつれ地域の人達とのコミュニケーションも少しずつ深まってきた。これからも地域の人達とのコミュニケーションを大切に関係機関と連携し楽しく活動していきたい。



今まで地域にあまり目を向けてこなかったのですが、民生・児童委員となり、訪問活動を通じて地域を知る事ができました。又、高齢者訪問時の話題のため四季折々の気候やニュースなどにも興味を持つようになりました。



民生委員・児童委員として活動し約4ヶ月経ちますが、一番感じる事は、プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う事です。支援を必要としている人の把握の為、まずはよき隣人として聴く姿勢を心掛けて活動していきたいと思っています。

民生委員・児童委員になつて、各々の家庭事情を知ることになり、責任感を持って活動していかなければと感じました。地域のことを知る良い経験になると思っています。

新入民生委員・児童委員となつて4ヶ月となり学ぶことが多い中、今自分が一番やれることからと思い、見回り訪問中心に活動していきたいと思っています。

最初の訪問は勇気が必要でしたね。回数を重ねて、笑ったり、相談をされたり必要な部署にひもづけてあげられた時には嬉しいです。「戸外で立ち話ができる事が嬉しいです」の声をききます。

見守り対象者との人間関係が、3年間つきあつていく中で、どのように構築されていくのか楽しみです。

色々な家庭へ何う様になり様々な現状を知りました。今までの自分の経験以上の事が多く、とても勉強になっています。

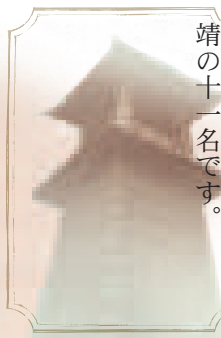
## 主な市民児連活動予定

- 6月5日 理事会
- 6月19日 子育てサロン祭り
- 7月3日 全員研修会
- 8月7日 理事会
- 8月28日 理事会
- 10月 地区民児協 正副会長研修会
- 10月1日 赤い羽根共同募金
- 10月26日 川越市社会福祉大会
- 11月3日 在宅障害児招待事業
- 11月6日 理事会
- 12月4日 理事会

## 時の鐘

令和四年十二月の改選に伴い、広報部会も新たなメンバーで活動を開始しました。今年度より「民事協たより」は、印刷費の削減等により、年三回の発行から年二回の発行となりました。第八十九号の発行に向けて、担当者全員が未経験者でしたが、編集会議を重ねて、なんとか完成することができました。内容は、改選後の新役員の挨拶、各部長の抱負等の記事が主なものですが、原稿を寄せていただいた皆様に感謝いたします。

今号の編集担当は、山田純子・吉田昌代・福田茂美 鶴見光子・笛木達也・秋山正・忍田千早・堀直美・鵜田勝美・神山レイ子・大谷靖の十一名です。



川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「福祉団体」をクリック

市民児連の「民児協だより」の名号をクリック

川越市社協 検索